

令和7年度使用

中学校教科用図書研究報告書

河北採択地区協議会

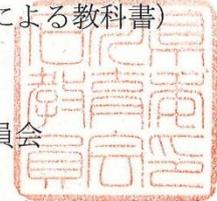
## 目 次

1	国語	1
2	書写	3
3	社会（地理的分野）	5
4	社会（歴史的分野）	7
5	社会（公民的分野）	1 2
6	地図	1 5
7	数学	1 6
8	理科	2 0
9	音楽（一 般）	2 3
1 0	音楽（器楽合奏）	2 4
1 1	美術	2 5
1 2	保健体育	2 7
1 3	技術・家庭（技術分野）	2 9
1 4	技術・家庭（家庭分野）	3 1
1 5	英語	3 3
1 6	道徳	3 6

研究報告書に記載されている採択の留意点①から⑦の観点については、石川県教育委員会が示す「令和7年度使用教科書（中学校用教科書及び学校教育法附則第9条の規定による教科書）の採択方針」及び「令和7年度使用教科書（中学校用教科書（「特別の教科 道徳」））の採択方針」に記載されている採択の留意点に基づいています。

令和7年度使用教科書（中学校用教科書及び学校教育法附則第9条の規定による教科書）  
の採択方針

石川県教育委員会



令和7年度使用教科書（中学校用教科書及び学校教育法附則第9条の規定による教科書（以下「一般図書」という。））の採択に当たっては、教育基本法や学校教育法が示す教育の目的や目標、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮するとともに、次のことに配慮すること。

1 中学校用教科書の採択について

- (1) 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。
- (2) 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。
- (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。

[採択の留意点]

- ① 基礎的・基本的な知識や技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるような記述の充実が図られていること。
- ② 思考力・判断力・表現力等を育むため、知識や技能を活用して課題を解決する過程を重視した学習の記述の充実が図られていること。
- ③ 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう配慮されていること。
- ④ 伝統と文化を尊重する態度、道徳性などを養うための内容や話題・題材の充実が図られていること。
- ⑤ 現代的な諸課題への対応や各教科等との関連に配慮が見られること。
- ⑥ 教材や内容は、学年相互間の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。
- ⑦ 本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いが、生徒の発達の段階に適しており、文字の書体や大きさ、図版等の印刷が適切であること。

[選定資料等の活用]

令和7年度使用中学校用教科書の採択に当たっては、石川県教育委員会が作成する、「令和7～10年度使用中学校用教科書石川県教科用図書選定資料」、及び、文部科学省において取りまとめた「教科書編修趣意書」等を活用すること。

2 一般図書の採択の留意点について

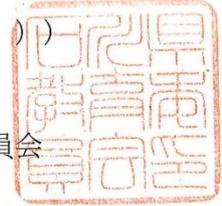
- ① 児童生徒の障害の種類・程度、能力・特性に最もふさわしい内容のものであること。
- ② 教科の目標に沿う内容をもつものであり、上学年で使用することとなる教科書との関連性や系統性を考慮すること。

[選定資料の活用]

一般図書の採択に当たっては、今年度、石川県教育委員会が作成する「一般図書選定資料」を活用すること。

令和7年度使用教科書（中学校用教科書（「特別の教科 道徳」））  
の採択方針

石川県教育委員会



令和7年度使用教科書（中学校用教科書（「特別の教科 道徳」））の採択に当たっては、教育基本法や学校教育法が示す教育の目的や目標、学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮するとともに、次のことに配慮すること。

1 中学校用教科書（「特別の教科 道徳」）の採択の留意点について

- ① 考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動の充実が図られるよう配慮されていること。
- ② 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の充実が図られるよう配慮されていること。
- ③ 主体的に学習に取り組み、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう配慮されていること。
- ④ 生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材の充実が図られていること。
- ⑤ 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連に配慮が見られること。
- ⑥ 教材や内容は、学年相互の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。
- ⑦ 本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いや、書体、文字の大きさ及び図版等の印刷が生徒の発達の段階に適応していること。

[選定資料等の活用]

令和7年度使用中学校用教科書（「特別の教科 道徳」）の採択に当たっては、石川県教育委員会が作成する「令和7～10年度使用中学校用教科書（「特別の教科 道徳」）石川県教科用図書選定資料」、及び、文部科学省において取りまとめた「教科書編修趣意書」等を活用すること。

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	国 語（国 語）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「広がる言葉」では、本文中の表現と関連する言葉を学習できるようになっており、語彙や表現を豊かにすることができるようになっている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉の力」では学習のポイントが図解とともに具体的に示されており、抽象的な考え方なども伝わるように工夫されており、考えを深めることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「てびき」では、読解から考えの形成への流れが段階的に示されており、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができる。また、「たすけ」によって考えを深めようとする意欲を持たせることができる。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
	発行者の番号	15	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「思考の方法」では、9種類の思考の方法が図解とともに示されており、情報を可視化し、考えを深めるための学び方を習得できるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読み方を学ぼう」では、教材文を例として取り上げて、文章の構造的な読み方が図解で示されている。既習の学びを基に応用につなげ、キーワードを用いて学んだことを自分で整理し、まとめることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

# 国 語

種目（教科）	国 語（国 語）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉・情報」では、「関連づける表現」「予想する表現」など文章で表された情報を理解するための具体的な着眼点を示すことで語彙を豊かにすることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点の②観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材冒頭に「学びナビ」が位置付けられており、その教材を読み深めるためのポイントが図解とともに分かりやすく提示されているため、主体的に深く考えるための手掛かりとなっている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
	<p>発行者の番号</p> <p>38</p> <p>発行者の略称</p> <p>光 村</p>		
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「語彙ブック」には多くの言葉が掲載されており、自分の思いや考えを伝える際に活用したり、語彙を増やしたりできる。また、他ページと紙質やサイズが違うため、見つけやすい。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びのカギ」では、思考のポイントが説明とともに図解で示されたり、注目すべき言葉が色分けして書かれていたり、学習で用いる言葉の解説が掲載されたりしており、学びを深めやすくなっている。また、学習に臨む際に持ってほしい疑問を提示することで、学びの方向性が定めやすくなっている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びへの扉」「振り返る」では、「知る」「読む」「つなぐ」といった観点別にその内容が具体的に明示されており、自分の言葉でまとめることで学びを自覚できるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

## 令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目(教科)	書 写(国 語)	教科責任者 氏名	■■■■ (非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元は見開き1ページで、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」の構成になっている。また、同ページには「書写のかぎ」として、単元で身に付けたい資質・能力が簡潔に示されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読みやすく速く書くための動き」では、具体的な場面設定で、そのポイントを解説した上で、楷書と行書の違いが示され、何を意識すると読みやすく速く書けるかに気付くことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元における「振り返ろう」では、示された目標に基づいて自分が書いた文字を振り返る活動が示され、実感を伴った振り返りができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	15	発行者の略称	三省堂
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各単元、「書き方を学ぼう」のページの中で、解説と「行書の特徴を楷書と比べて考えさせる問い」、その後「書いて身につけよう」により構成されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「書き方を学ぼう」では、思考を促す問いが設けられ、これからの学習について課題を意識すること、また、書き方のポイントが他の文字ではどこに使われているかを見つけることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の最後に位置づけられている「やってみよう」では、既習を生かして書く活動が設定されており、発展的に学びを深める工夫がされている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

# 書 写

種目（教科）	書 写（国 語）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆の学習では硬筆による「試し書き」と、学習の最後の「まとめ書きと応用」によって変容を自覚できるように工夫されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コラム」には書に関する多くの資料や情報が掲載されており、伝統や文化について知ることができる。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
	発行者の番号	38	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元は見開き1ページで、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の構成になっており、気づきから定着への流れを意識させた構成になっている。また、同ページには「学びのカギ」として、単元で身に付けたい資質・能力が簡潔に示されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の「まとめ書きと応用」では、教材で学習したことを生かして別の熟語を書く欄が設けられ、知識や技能を活用することができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別冊の「書写ブック」は切り離れるようになっており、他教科の学習にも活用できるよう工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由より教科書として極めてふさわしい。</p>		

## 令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会 地理的分野（社会）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スキルアップ」では、統計資料の読み取り方や様々なまとめ方が提示され、資料活用の技能が身につくように配慮されている。また、QRコードから解説動画の視聴も可能である。</li> <li>・鉛筆のマークが付された資料では、既習の知識や技能を活用して表現する活動が設けられ、身につけた技能を活用することができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もっと知りたい！」では、学習内容に関する新たな視点が示され、自主的に学習を深めることができるように配慮されている。</li> <li>・「まとめの活動」では、考察するヒントや考えたことを構造的にまとめられるよう工夫されており、探究課題を解決できるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の窓」では、「自然環境」、「都市と人口」、「産業」、「交通と通信」、「生活と文化」の視点で写真資料が掲載され、各州の特色を捉えやすいように工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
	発行者の番号	17	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地理の窓」では、学習内容に関する新たな視点が示され、地理的事象への興味・関心を喚起し、自主的な学習を促すように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域の各地域の導入では、SDGsに関連する地球的課題が示され、課題解決に向けた意識が高まるように配慮されている。</li> <li>・「クロスロード」では、持続可能な社会に向けた取組が紹介され、現代的な諸課題への関心が高まるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

地 理

種目（教科）	社会 地理的分野（社会）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	4 6	発行者の略称	帝 国
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとに「確認しよう」のコーナーが設けられており、基礎的・基本的な学習の確認ができるようになっている。また、「説明しよう」では学習内容を説明する活動を通して自分の言葉での表現力も育成できるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域や日本の諸地域では、見開き写真の導入ページを設け、生徒が知っていると思われる有名な観光地や関心を引く地域の文化、特色ある自然や産業の写真を大きく掲載し、各地域の特色が体感できるように工夫されている。特に「日本の諸地域」では、各地方の扉が各都道府県の名物や名所などが挿絵と地図で表されており、興味を引く構成となっている。</li> <li>・世界の各地で暮らす人々の生活を衣・食・住に分けて特徴ある暮らしについて写真を入れながら説明されている。</li> <li>・最初の導入ページでは、大きな写真とキャラクターによる吹き出しを掲載し、資料を読み取る視点を掲示したり、学習活動を促したりすることで、興味・関心を高められるよう配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
	発行者の番号	1 1 6	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ページの下に、小学校での学習内容や歴史・公民的分野との関連を示すことで、それぞれを関連させながら学習を進めることができる。特に、小学校での既習事項がわかることで、学習を深めることができると思われる。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各編・各章の見開き扉ページは「学習内容」「問いを立てる」「学習の見通しを持つ」といった流れで構成されており、生徒が自分の考えを持ちつつ学ぶ見通しを立てやすくなっている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域調査の手法」内「スキルUP」においては、地形図の読み取り方と合わせ地理情報システム(GIS)についても触れられており、高等学校地理歴史科「地理総合」との関連が図られている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	社会 歴史的分野（社会）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スキルアップ」では、年表や系図の読み取り方などのポイントが示され、基礎的・基本的な技能の定着が図られている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなでチャレンジ」では、歴史的事象の原因や影響などについて調べたり、話し合ったりする活動が設けられ、多面的・多角的に考察し、表現する力を身につけることができるように配慮されている。また、複数資料を関連させて思考する力を身につけることができるよう、配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もっと知りたい！」では、学習内容を深めたり、異なった視点から捉えたりするコラムが掲載され、歴史学習への関心や意欲を高めることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小学校で習ったことば」では、小学校での既習事項が掲載され、中学校の学習との系統性を意識できるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
	発行者の番号	17	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「HOP!」、「STEP! ①」では、学習内容が構造化された年表や地図、図版で章の復習をする活動が設けられ、基礎的・基本的な知識の習得につながるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中世以降の章の扉では、学習内容に関わる資料を基に、前の時代との変化に着目して、社会の変化を読み取ったり、時代の特色を予想したりする活動が設けられ、学習の見通しをもって自主的に学習することができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「時代スケール」が学習課題とともに示され、学習している時代が捉えやすいように工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

## 歴 史

種目（教科）	社会 歴史的分野（社会）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	46	発行者の略称	帝国
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「アクティブ歴史」では、資料から得られた情報を元に、根拠を明確にして自分の考えを表現する活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等が育まれるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「タイムトラベル」では、見開きで掲載された学習する時代の様子が分かるイラストを基に、前の時代と比較しながら特色をつかむ活動が設けられ、これからの学習への興味・関心を高めることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「これからの時代を構想しよう」では、歴史学習を踏まえてSDGsを探究する活動が示され、現代的な諸課題の解決に向けた意識を高めることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「世界とのつながりを考えよう」では、当時の世界の様子を示した世界地図や、日本との関連を読み取る世界の都市がイラストで示され、世界と日本のつながりを分かりやすく捉えることができるように工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	81	発行者の略称	山川
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「用語解説」では、本文内に用いられる難解な用語の解説が示され、学習内容の理解を助け、基礎的・基本的な知識の習得が図られている。</li> <li>各章の「まとめ」では、表や指定された語句を使って学習内容についてまとめる活動が設けられ、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「Q」では、本時で学習する歴史的事象の意味や意義などについて思考を促す問いが示され、多面的・多角的に考察する力を身につけることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ステップアップ」では、学習内容を整理したり、説明したりする問いが示され、自主的に学習内容の振り返りに取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「くわしく見てみよう〇〇」として二次元コードとともに内容が掲載され、学習内容に関連した映像資料を見ることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

種目（教科）	社会 歴史的分野（社会）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	116	発行者の略称	日 文
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「資料活用」では、資料を読み取ったり、読み取ったことを交流したりする活動が設けられ、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的な見方・考え方が学習課題とともに示され、見方・考え方を働かせながら学習課題を追求できるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『歴史との対話』を未来に活かす』では、学習課題の解決に向けた探究活動に取り組みやすい「テーマ別さくいん」が設定され、自主的に学習を進めることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点④の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史を掘り下げる」では、現在の社会においても課題となっている事象の背景や、課題解決の取組が取り上げられ、これからの生き方を考えることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	225	発行者の略称	自由社
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「復習問題のページ」では、歴史的な事象に関する一問一答の設問や地理的内容の把握を促す設問が示され、基礎的・基本的な知識の習得が図られている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「時代の特徴を考えるページ」では、『ひとこと』作文』の作成や「意見交換会」などの活動が設けられ、時代の特徴についてまとめ、表現する力を身につけることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べ学習のページ」では、章のテーマに基づいた興味・関心を持つことができる課題が設けられ、自ら学習に取り組めるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「知っ得ポイント！」では、学習内容に関連した発展的な内容が紹介され、幅広い知識を身につけることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

## 歴 史

種目（教科）	社会 歴史的分野（社会）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	227	発行者の略称	育鵬社
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめ」では、各時代の資料を基に時代の特色について基礎的・基本的な知識を習得できるように配慮されている。</li> <li>・「探求」では、学習した歴史的事象の意味や意義について、指定された語句を使ってまとめたり、具体例を挙げて説明したりする活動が示され、多面的・多角的に考察できるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「TRY!」では、学習内容に基づいた興味・関心をもつことができる課題が提示され、自主的に学習に取り組めるように配慮されている。</li> <li>・「虫の目で見ると」では、時代の特色を捉えやすい資料を読み取り、章や各節の課題を設定する活動が示され、課題解決的な学習ができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「節の課題」が本時の学習課題とともに記載され、節の課題を常に意識して学習に取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	229	発行者の略称	学び舎
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部の「学習のまとめ」では、時代の特色をスリーヒントゲームやインタビュー、4コマ漫画作成などを通して振り返る活動が設けられ、時代の特色を考察し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の扉では、見開きで世界地図とその章のテーマに基づく各地の様子が写真やイラストで掲載され、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「フォーカス」では、歴史の舞台に焦点を当てて、学習内容に関連した発展的な内容が紹介され、幅広い知識を身に付けることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	社会 歴史的分野（社会）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	236	発行者の略称	令書
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「時代ごとの特色をとらえよう」では、政治、外交、文化、産業の4つの視点で学習内容を整理する活動が設けられ、基礎的・基本的な知識を習得できるように配慮されている。</li> <li>・教科書の上下にある脚注では、歴史を理解する際に重要な用語の解説が掲載され、学習内容の理解を助け、定着につながるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「考えよう」では、本時で学習した歴史的事象が起こった理由や影響などについてまとめる活動が示され、多面的・多角的に考察できるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文献資料」が豊富に掲載され、歴史学習への関心が高まるように工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書			
種目（教科）	社会 公民的分野（社会）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「チェック」、「トライ」では学習内容を確認したり、現代社会の見方・考え方を働かせて説明したりする活動が設けられ、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。</li> <li>・「スキル・アップ」では、具体的な資料を読み取ったり、読み取った情報を基に考察したりする活動が設けられ、資料活用の技能の定着が図られている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなでチャレンジ」では、社会的事象について、自分の考えをまとめたり、話し合ったりする活動が設けられ、多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けることができるように配慮されている。</li> <li>・「深めよう」では思考ツールを活用し、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を解決する活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「導入の活動」では、章の学習に関係する資料を基に、章を貫く「探求課題」とその解決に向けた「探求のステップ」が示され、学習の見通しをもち、自主的に学習を行うことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により、教科書として極めてふさわしい。</p>		
	特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の導入に「ウォーミングアップ！公民」やQRコードからアクセスできる語句クイズのコーナーがあり、見通しを持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul> <p>採択の留意点①②③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の学習課題に対し、まとめが「HOP!」（知識・技能）→「STEP!」（思考力・判断力・表現力）→「JUMP!」（学びに向かう力）と順序だてて進み、自然と思考が深まるように工夫されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脚注部に学習内容とSDGsとの目標との関連が示されており、現代的な諸課題とこのページの学習で学んでいる内容がどのように結びついているのかが中学生にも分かりやすい。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	
発行者の番号		17	発行者の略称

種目（教科）	社会 公民的分野（社会）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	46	発行者の略称	帝国
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「確認しよう」、「説明しよう」では、学習内容を振り返ったり、自分の考えを説明したりする問いが設定され、基礎的・基本的な知識の定着がはかられている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アクティブ公民」では、現代社会の見方・考え方を働かせ、現代社会に見られる課題を探究する活動が設けられ、多面的・多角的に考察する力を身に付けることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「探求学習への準備」では、学習内容を基に持続可能な社会の形成に向けた探求テーマを検討する活動が設けられ、自主的に課題探求学習に取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「公民プラス+」では、現代社会の動きや新しい事例が紹介され、単元の理解をさらに深めることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	116	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の導入である「学習のはじめに」のコーナーでは、生徒が思わず考えたくなるような興味深いテーマがマンガ形式で取り上げられており、これから始まる学習に対して取り組みやすくなるよう工夫されている。</li> </ul> <p>採択の留意点①②③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の学習課題に対し、まとめが「語句の意味を確認しよう」（知識）→「章の問いに答えよう」（思考・判断・表現）→「章の学習をふり返ろう」（主体的に学習に取り組む態度）と順序だてて進み、自然と思考が深まるように工夫されている。また、各章の課題に対する予想とまとめを記入できるポートフォリオがデジタルコンテンツで用意されており、QRコードから簡単にアクセスできる。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての学習課題に対して、現代社会の見方・考え方が示されており、見方・考え方を働かせながら学習課題を追究できるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

公 民

種目（教科）	社会 公民的分野（社会）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	225	発行者の略称	自由社
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ここがポイント！」では、本文の要点を整理した内容が示され、学習内容の理解を促し、基礎的・基本的な知識の定着が図られている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アクティブに深めよう」では、現代社会の見方、考え方を働かせ、話し合いながら課題を追究する活動が設けられ、多面的・多角的な考察ができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終章の「持続的な社会を目指して」では、「日本人の価値観・感性からSDGsを考えよう」という課題が設定され、現代的な諸課題への考えが深まるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により、教科書として概ね良い</p>		
	発行者の番号	227	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やってみよう」では、シミュレーション等の体験的な活動や意見交流する活動が設けられ、現代社会に見られる課題について、多面的・多角的に考察し、表現する力を身につけることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点④の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本の伝統文化」では、信仰や芸能、年中行事などの写真が掲載され、我が国の伝統文化に対する関心が高まるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭と巻末に現代的な諸課題に関する資料が掲載され、持続可能な社会の形成に関心が高まるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「節の課題」が本時の学習課題と共に記載され、節の課題を常に意識して学習に取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により、教科書として概ね良い。</p>		

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	地図（社会）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書	
特徴・特筆すべき事項	<p>採択留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界と日本の諸地域とも資料図が多く、調べ学習がしやすいように工夫されている。</li> <li>キャラクターを用いて、地図や資料を読み取らせるための質問が用意されている。</li> <li>二次元コードが載せてあり、質問の解答例やウェブコンテンツを見ることができる。</li> </ul> <p>採択留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターを用いて、地図や資料をもとに事象を説明させるための質問が用意されている。</li> <li>資料中のジャンプマークによって関連する資料を示し、複数の資料を読み取らせて考察することができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域において、地形の特徴を捉えやすい鳥瞰図が用意されており、生徒が地図に興味・関心を持ちたくなるような配慮がされている。</li> </ul> <p>採択留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際連合のSDGsに関する資料をマークで示し、関心を高める工夫がされている。</li> </ul> <p>採択留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターを使って対話的に資料を読み取らせたり、考えさせたりする配慮がされている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>			
	発行者の番号	46	発行者の略称	帝 国
	特徴・特筆すべき事項	<p>採択留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界と日本の諸地域とも資料図が豊富で、調べ学習がしやすいように工夫がされている。</li> <li>問いコーナーに、地図や資料を読み取るための適切な質問が用意されている。</li> <li>二次元コードが載せてあり、質問の解答例やウェブコンテンツを見ることができる。</li> </ul> <p>採択留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問いコーナーに、地図や資料から読み取ったことをもとに事象の共通点、特色、理由などを考えさせるための適切な質問が用意されている。</li> </ul> <p>採択留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域や日本の地域において、地形の特徴を捉えやすい鳥瞰図が地域の特色を示すイラスト入りで用意されており、生徒が地図に興味・関心を持ちたくなるような工夫がされている。</li> </ul> <p>採択留意点④の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界及び日本の生活・文化では、写真を豊富に使って特色がつかみやすいように工夫がされている。また、世界遺産を見つけやすいように地図やさくいんの表記に工夫がされている。</li> </ul> <p>採択留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災と環境に関する資料をマークで示し、防災や環境保全の意識を高める工夫がされている。</li> </ul> <p>採択留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に地図と資料図が大きく、着色が鮮やかで、読み取りやすいように工夫がされている。</li> </ul> <p>以上の理由から教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書			
種目(教科)	数学(数学)	教科責任者 氏名	■■■■ (非公開)
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必ず解けるようになってほしい問題、巻末の「補充の問題」のやや難しい問題にはマークが付されており、習熟の程度に応じて問題に取り組むことで、理解が確認できるように配慮されている。</li> <li>節末には「基本の問題」が設けられており、学習内容の理解を繰り返し確認することで基礎的・基本的な知識や技能の習得ができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>深い学びでは、日常の場面の中にある問題を、数学を用い、問題発見・解決の過程を通して、思考力・判断力・表現力等を育むことができるよう配慮されている。</li> <li>虫眼鏡マークが付されている吹き出しでは、働かせたい数学的な見方・考え方が示されており、統合的・発展的に考えることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びを振り返ろう」や「数学の目で振り返ろう」では、問題解決で働かせた数学的な見方・考え方を振り返る活動が設けられており、数学的な見方・考え方を働かせるよさを実感できるように配慮されていることや、次年度の学習への意欲を促すことができるようになっている。</li> <li>生徒同士の授業でのつぶやきの吹き出しがあり生徒主体に学習が進められるようになっている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二次元コードの数が多く、一人一人が数学的活動に取り組んだり適用題に進んだりできるよう活用しやすいように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
	<p>発行者の番号 4 発行者の略称 大日本</p>		
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「活動」、「例」、「例題」を用いて学習の流れが分かりやすく構成されており、表現や処理の方法を習得できるように配慮されている。</li> <li>「たしかめ」、適用練習「Q」、「たしかめよう」、「○章を振り返ろう」等、繰り返し練習する機会が設けられており、基礎的・基本的な知識や技能の定着に配慮されていること、「プラス・ワン」や「補充問題」で、習熟度に応じて補充的な学習や発展的な学習に取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用のページでは、問題発見・解決の流れを意識して取り組むことで、見いだした問題の解決方法が身につくように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各章や巻末に「MATHFUL(マスフル)」、「社会にリンク」、「付録」が設けられており、数学が人間社会の歴史や文化とともに発展してきたことを紹介するなど、身の回りにある数学に目を向け、数学と社会とのつながりや数学の有用性を実感できるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
	<p>発行者の番号 4 発行者の略称 大日本</p>		

種目（教科）	数学（数学）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	11	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末の「章のまとめ問題」では「基本」、「応用」、「活用」の問題が設けられており、習熟の程度に応じて問題に取り組むことで学習内容が定着するように図られている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学的活動」では身の回りの事象から問題を発見し、解決過程が示されており、事象を数理的に捉え、数学的に考える思考力を育むことができるように配慮されている。</li> <li>・導入問題である「Q」では、問題に対してどのような数学的な見方・考え方を働かせるのかが例として示されており、問題解決に向けて見通しを立てることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末の「できるようになったこと」、「さらに学んでみたいこと」では、その章で学んだことを自己評価して振り返ったり、次の学びの意欲を引き出したりすることで、主体的に学習を振り返ることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
	発行者の番号	17	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「例」と「問」の間に、「例」に類似した「たしかめ」が設けられており、基礎的・基本的な知識や技能の習得ができるように配慮されている。</li> <li>・各章のはじめには「○章を学習する前に」、章末には「学習のまとめ」が設けられており、学習内容を繰り返し確認することで、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学んだことを活用しよう」や「学んだことを活用しよう+」では、知識や技能を活用する問題が設けられており、既習を生かして学びを深めることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「章のとびら」では、実社会や生活、先端テクノロジー等、数学に関する話題が取り上げられており、数学を学ぶことの必要性を感じ、興味や関心をもって学習に取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

# 数 学

種目（教科）	数学（数学）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末の「学びをたしかめよう」では、問題と合わせて「○章で学習したこと」が示されており、必要に応じて、復習ができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「○○の利用」の節では、問題解決の流れが3つのステップで示されており、身の回りの事象を数学的に捉え、問題解決するときの考え方が意識できるように配慮されている。</li> <li>・表現活動の場面では「説明しよう」、「話しあおう」、「まとめよう」が設けられており、他者にも分かりやすい表現を考えたり、考えを整理して記録したりすることを通して、思考力・判断力・表現力等を育むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章末に「○章のあしあと」が設けられており、学習を振り返って、分かったことやできるようになったこと、さらに学んでみたいこと等をまとめる活動を通して、自らの学びの過程を確認し、次の学びへと進むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
	発行者の番号	104	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章のはじめの「ふりかえり」では、その章に関連する既習事項をまとめられており、新たな章の学びがスムーズに進むように配慮されている。また、レディネステストに活用することもできる。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒キャラクターの対話場面では、課題に取り組む際に、どのようなことに着目して考えればよいかを示されており、数学的な見方・考え方を自然に身に付けることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後見返しの「学びの自己評価チェック」では、「自分で学ぶ力をチェック！」と「学び合いの力をチェック！」が設けられており、自立的な学び、協働的な学びそれぞれについて、学び方に対する意識を高めることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年では、問いかけ文に「～しましょう」という表現が用いられており、小学校から中学校への学習の接続が円滑になるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	数学（数学）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	116	発行者の略称	日 文
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小節ごとに「めあて」が表示されたり、「例」に見出しが付されたりしており、必要に応じて学習内容を確認しながら復習することができ、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「説明できるかな？」が全ての章に設けられており、方法や理由等を数学的な表現を用いて説明する問題に取り組むことで、表現力を養うことができるように配慮されている。</li> <li>・問題解決型の授業展開を明示した「学び合おう」では、話し合いを通して学びを深めていくための「対話シート」が設けられており、主体的・対話的で深い学びを実践できるように配慮されている。ノートに貼れるサイズになっているため学びを残しやすくなっている</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びに向かう力を育てよう！」では身に付けてほしい学習に取り組む態度が示されており、学びに向かう力を養うことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

## 令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	理科（理科）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「?に対する自分の考えをまとめよう」では、使用するキーワードが示され、各節の結論を自分の言葉でまとめられるように配慮されている。また、巻末にはまとめ方の例が示されており、学習内容の定着を図ることができるように構成されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、「考察はここをおさえよう」「レポートのまとめ方」「議論のしかた」などを掲載し、結果をまとめたり考察や振り返りを行ったりする際などにいつでも確認ができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各節の導入「問題発見 レッツスタート！」で生活経験や身の回りの事象について考える場面が設定されており、興味・関心を高め、主体的に目的意識をもって学習に取り組むことができるように構成されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「(教科名)で学ぶこと」では、教科名とともに、他教科で学習する理科と関連の深い内容が示されており、教科等横断的な深い学習につながるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生では、巻末に8ページ分にわたって中学1年および2年の「学習のまとめ」が掲載されている。問題演習中心ではあるが、一問一答形式の問題が多く採用されており、家庭や授業においてさまざまな活用ができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末には「探究活動」を取り入れており、これまでの学びを生かして生徒が主体的に課題解決を図りたくなるような内容が記載されている。また、科学的な見方・考え方を重視した学習ができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くのページに「発展」マークがある資料を掲載しており、いつ、どの教科で学ぶのかを資料右下にマークで記載し、系統性を意識して学びをつなげるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	理科（理科）	教科責任者 氏名 ■■ ■■（非公開）
発行者の番号	11	発行者の略称 学 図
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元末の「学習のまとめ」では「用語を覚える」と「基本問題に慣れる」が設定され、目的に応じて繰り返し学習ができる構成になっている。</li> <li>・ 「探究」の手順や巻末「基本操作」では、観察・実験の基本的な技能が丁寧に示され、また安全な操作のための注意点がわかりやすく示されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻末では、「計算問題 例題」「読解力強化問題」、全国学力・学習状況調査や高校入試過去問の解説からなる「思考をさらに深める」など、さまざまな問題に取り組めるように構成されている。また、問題例とともに、考える視点が示されており、科学的な考え方を深めることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「SDGsを意識して脱酸素社会へ」では、持続可能な開発目標（SDGs）や脱炭素社会を取り上げ、日本各地で行われている SDGs への取組が掲載され、環境保全の大切さについて考えることができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	
	発行者の番号	17
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「理科室の決まりと応急処置」として全学年の巻頭に掲載されており、常に確認できるようにすることで、正しく安全に実験ができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻頭で示されている「探究の進め方」では、折り込みになっているページを広げることで、常に探究の過程を確認することができるので、生徒が見通しをもって、主体的に探究的に学習を進められるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各単元の冒頭の「学んでいくこと」では、既習事項がどの章の学びと関連があるのかについて、まとめて掲載され、生徒が見通しをもって系統的に学習を進めることができるように配慮されている。</li> <li>・ 単元末の&lt;&lt;広がる科学の世界&gt;&gt;では、本単元の学習内容が実生活でどのように活用されているのかなどの例が掲載されており、本単元を学ぶ意味や意義を意識できるよう配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	

# 理 科

種目（教科）	理科（理科）	教科責任者 氏名 ■■ ■■（非公開）
発行者の番号	61	発行者の略称 啓林館
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習のまとめ」では章末に基本用語の確認問題や、単元末に学習のまとめが掲載されており、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>・「実験を正しく安全にすすめるために」では安全に実験を進めるために必要な技能について、マークとともにまとめて簡潔に掲載してあるため、スムーズに技能の確認ができる。特に、1年ではイラスト等ではなく、実際の写真が多く採用されていることで、分かりやすく知識の定着ができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたしのレポート」では、自分でレポートをまとめる際のポイントが示されており、実験レポートを用いて、実験して分かった事実と自分の考えを分けて表現できるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元に「探Q実験」が設定されており、巻末にある「探Qシート」を使って学びを深めることができるように配慮されている。特に仮説を3段階構成とし、よりよい仮説を自然に立てられるよう工夫されている。また生徒の実態に合わせて「探Qラボ」を効果的に使うことで、発展学習も可能となっている。</li> <li>・すべての各章の導入において、大きな写真が採用されている。具体的な問いとともに載せられており、それらを追究していくような章の構成となっているため、とても効果的な写真である。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「部活ラボ」、「お仕事ラボ」、「お料理ラボ」では、職業や科学技術、食材等の多くのコラムが掲載されており、理科の学習と日常生活や社会とのつながりについて実感できるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用する例や場面を「ICT」マークとともに示されており、観察・実験に効果的な活用ができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>	

## 令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	音楽 一般（音楽）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「Active!」や「どんな特徴があるのかな?」では、音楽を形づくっている要素とその働きを捉える学習活動が設けられ、知識を活用して課題を解決する学習が充実するように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「学習 MAP」では、それぞれの領域や分野を学ぶための目標が示され、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「Let's Try!」では、指揮や長唄などの体験的な音楽活動が取り上げられ、デジタルコンテンツを参考にしながら、発展的な学習をすることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
	発行者の番号	27	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「音楽を形づくっている要素」では、思考・判断のよりどころとなる音楽の要素が、既習の楽曲を用いて示され、基礎的・基本的な知識を習得することができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動を進めるうえで、知覚・感受したことをもとに思考、判断、表現するためのヒントがキャラクターの吹き出しによって示されているほか、思考した内容を記述する場面が設定されたり、作品例やワークシートが掲載されたりするなど、段階を踏んで学習を深めることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点④の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌舞伎役者である松本幸四郎・市川染五郎親子のインタビューが掲載され、我が国の伝統文化に親しみ、それらを尊重する態度を養うことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ルールを守って音楽を楽しもう!」では、著作権や音楽が生み出される仕組みなどが掲載され、音楽を利用する際の諸問題を解決したり留意したりできるような態度を育むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容と関連したデジタルコンテンツへアクセスするための二次元コードが数多く掲載され、必要な情報を選択しながら、個に応じた学習を行うことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

音楽（器楽合奏）

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書			
種目（教科）	音楽 器楽合奏（音楽）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	17	発行者の略称	教出
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和洋の楽器の奏法について、写真やイラストによって具体的に示され、演奏に必要な基礎的な技能を身に付けることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「名曲旋律集」では、既習を生かして表現の工夫に迫ることができる、多彩なジャンルの楽曲が掲載され、主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」では、ストリート・ピアノが紹介され、地域コミュニティの活性化に向けた音楽の役割に気付くことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	27	発行者の略称	教芸
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のコラムや「Q&amp;A」、キャラクターの吹き出しが適切に配置され、音楽活動を通して知識や技能を身に付けることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びのコンパス」では、思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素が示され、音楽的な見方・考え方を働かせながら表現の工夫に迫ることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点④の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和楽器を取り上げたページでは、楽器の奏法に関することに加え、中学生に向けた名手のメッセージも掲載され、我が国の伝統や文化を尊重することができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「アンサンブル」、「楽器で Melody」では、歌唱分野や鑑賞領域と関連させながら学習できる楽曲が掲載され、領域・分野横断的な活動を通して、より深まりのある学習をすることができるように構成されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容に関連したデジタルコンテンツへアクセスするための二次元コードが数多く掲載され、必要な情報を選択しながら、個に応じた学習を行うことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	美術（美術）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品写真の上に、「知識・技能」や「発想・構想」など小見出しが示されており、何をねらいとして掲載されているのかが分かりやすく、課題意識をもって活動できるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年の「発想・構想のヒント」では、作家の制作現場やアイデアが生まれる過程が取り上げられており、発想や構想、表現するときの手掛かりとなるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵画・彫刻の導入に、生徒の興味関心の高いアニメーションが使われており、作者の言葉も引きつけるものがある。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞する題材では、表紙の質感ある印刷をはじめ、作品の一部を拡大したものや原寸大の図版が掲載されていたり、対話をしながら鑑賞できるように折り込みページが設けられたりしている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い</p>		
	発行者の番号	38	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>別冊資料では、基本的な用具の使い方や技法等がまとめられ、教科書の関連ページ右端には別冊へのリンクが示されており、3年間を通じて活用できるように配慮されている。</li> <li>「POINT」では、形や色彩、材料、光等の共通事項を意識した問いかけが示されており、作品への見方や感じ方を深めることができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなの工夫」では、表現していく過程が吹き出しや写真とともに紹介されており、発想や構想、表現をするときの手掛かりとなるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭・巻末に谷川俊太郎の「うつくしい!」を掲載することで、心情に訴えたり、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他教科との関連が深い題材では、「コラム」が設けられており、美術の学びと他教科の学びのつながりが具体的に示されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞する題材では、屏風のように建てられる仕組みを作ったり、原寸大の図案や和紙のような風合いのある用紙を使ったページが設けられており、文字も和を感じるフォントを使うなど、より本物に近い感覚で鑑賞することができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

## 美術

種目（教科）	美術（美術）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	116	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びを支える資料」では、基本的な材料や用具の取扱い等についてまとめられており、基礎的・基本的な技能が習得できるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「鑑賞の入り口」では、作品を鑑賞する際の主発問が示されており、造形的な見方・考え方に気づくことができるよう配慮されている。</li> <li>・「表現のヒント」では、アイデアスケッチや制作過程の写真・二次元コードが示されており、思考の手掛かりになるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭ページ等では、多方面で活躍する著名人の言葉が紹介されており、美術への興味・関心をもち、美術の学びを将来に生かしていくことができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3分冊構成にすることで、発達段階に応じたねらいや内容の題材が明確に示されており、系統的・発展的に学習できるよう配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

## 令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	保健体育（保健体育）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識や技能の習得が図れるよう、「学習課題」と「キーワード」が具体的に示されており、各章末に章末資料及び学習のまとめを設けるなど工夫されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味や関心を引き出し、自発的な学習を促すための工夫として、1単位時間毎にデジタルコンテンツが用意されており、動画を見たり、シミュレーションを行えたりできるような教材が設定されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・系統的・発展的な学習を促すために、各章のはじめに、小学校で学習したこと、高校で学習することが示されており、1単位時間の終わりに「広げる」で学習したことを自分の生活に当てはめたり、更に調べたりすることができる工夫がされている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容はそのままに、文章量は減少しており、教科書を見て圧迫感や抵抗感を受けにくい印象がある。また、関係する本文と資料が従来と比較し、より適切に配置されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大日本
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「口絵」に工夫されており、「人々の健康を支える著名人」や「健康を支える食事」等、中学生にとって身近な話題が盛り込まれており、興味・関心を持ち実生活に活かしていける工夫がされている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1単位時間毎に「トピックス」があり、現代の社会問題や情勢をふまえた情報が盛り込まれており、生徒の興味・関心日常生活と結び付けて、学習できるようにされている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きの左ページが文章で右ページがイラスト資料の構成になっており、資料が豊富な印象を受ける。それぞれの文章に資料の数字が書かれてあるが、本文と関連資料を比較する際にどの資料が有効なものかが分かりにくく、文章量も多い。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

## 保健体育

種目（教科）	保健体育（保健体育）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	50	発行者の略称	大修館
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめとして、右下の二次元コードを読み込むとまとめのテンプレートが出てくる。思考力、判断力、表現力等を育む上で工夫されており、そのテンプレートを使って、まとめの提出も可能である。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストなどの資料は効果的なものが多いが、動画が少なく、興味関心や主体的に学習に取り組むことが促されにくい。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元によって、他教科との関連が明記されており、他教科と結び付けて学習が進められるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「章のまとめ」では3観点から各章の学習をまとめることができ、学習した内容を実生活に生かして考えられるような発展的な課題が適切に示されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	224	発行者の略称	学研
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識や技能の習得が図れるよう、「章のまとめ」では基礎基本問題が設定されており、「生かそう」では、自分自身の生活に生かしていける内容の活用問題が設定されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力・判断力・表現力等を育むための工夫として、「考える」「学びを生かす」において、話し合いをしながら課題を解決し、学習したことを伝えることができるように工夫されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右下の二次元コードを読み込むことで、様々な外部リンクにつながるができる。そのため、自主的、自発的な学習を促されると思われる。一方でリンクの量が多く、どれが適切なリンクなのかを選択するのに時間がかかることが予想される。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章末の「探究しよう」では、現代的な諸問題に対して考える工夫がされており、他教科との関連等、探究課題が適切に設定されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	技術・家庭 技術分野（技術・家庭）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書	
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識・技能の習得のため、学習内容を確実に身に付けることができるように重要事項はゴシック体で表記され、さらに知識を広げることができるように「技術の工夫」を設けている。</li> <li>・編末の「学習のまとめ」では、自己評価による学習内容の確認と、確認問題や重要語句の一覧を掲載し、学習事項の確実な定着ができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「問題解決例」では、活動の流れが明確に示され、見通しをもって問題解決に取り組むことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味・関心を高める手立てとして、「やってみよう」や「技術の匠」、「資料」、「すごいぞ！技術」を通して、自主的、自発的な学習が促されるような工夫がされている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードより、単元に関わる話題等を知ることができ、現代的な諸課題や各教科等との関連に対応できるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストや写真と文章とのバランスがとてもよく、見やすさと分かりやすさに配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>			
	発行者の番号	6	発行者の略称	教 図
	特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭資料や各編第1節に「技術を見つけよう」を設け、生活や社会に「技術」が活かされている例を掲載し、技術分野への興味・関心を高められるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術による問題解決に段階的に取り組めるよう「問題解決の流れ」を新設し、4コマ漫画を用いるなど、興味を引くように工夫されている。また、技能資料を別冊「スキルアシスト」にまとめることで、設計・計画や実習に活用しやすいよう工夫されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「技ビト」では、技術者や開発者のインタビューが掲載されており、生活の中で使用されている技術や、自分のキャリアについて考えることができるよう工夫されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤、⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3章「未来をつくろう」では環境、共生、情報モラルなどに関わる資料やコラムを掲載し、進路選択や職業観・勤労観の育成に寄与できるよう構成されている。また、先輩からのメッセージや、社会で活躍する技術者の思いと取り組みを紹介することで、中学校で「技術」を学ぶ意義や社会の中での問題解決の大切さに気づきやすくしている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

## 技 術

種目（教科）	技術・家庭 技術分野（技術・家庭）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンスの内容が充実している。また、3年間に技術分野で学習する内容と学習の進め方が分かりやすいことで、知識・技能が習得できるように配慮されている。</li> <li>・全体的に学習の流れに沿った構成がなされており、理解が進むよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目において、学習課題をわかりやすく明記し、「CHECK」で内容確認ができるように構成されている。また、各ページの二次元コードに、学習課題と「CHECK」を含む学習コンテンツが収録されており、生徒が自己調整をしながら学習を進められるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習例や事例が豊富に掲載されており、まとめに使えるワークシートも利用しやすく、教職経験や技術科指導の経験が少ない教師にも使いやすいよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容に関連した資料や注意点が随所に掲載され、各ページ右上の関連した道具やパーツの写真やインタビュー記事も興味を持って学習に取り組めるように構成されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	技術・家庭 家庭分野（技術・家庭）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に関する内容では、「できたかな？」や「チェック」等で技能項目を具体的に示し、確実に知識・技能を身に付けることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決的な学習課題が毎ページに提示されると共に、小項目においても細かな問いが投げかけられ、課題を解決するための思考力や判断力を養えるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「レッツスタート」で自分の生活を振り返る問いかけが設定されている。また、実生活を想起しやすい資料が配置されており、生徒の興味を高め、自主的に学習を促す工夫がされている。</li> </ul> <p>採択の留意点④の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統的な衣食住文化が豊富に取り上げられており、理解を深められるよう工夫されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学習内容の終末に持続可能な生活を考えるまとめが配置されている。他にもサステナブルな視点に特化した資料が含まれており、現代の諸課題への意識が高まる内容となっている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他領域との関連がマークで示されている。さらに、二次元コードでは小学校で学習した教科書のページが資料として活用され、学習の進捗や興味・関心に合わせて利用できるような配慮が見られる。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	6	発行者の略称	教 図
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実感を伴った学びになるよう、豊富な実習例が掲載されている。体験から得られる実践力を身につけることができ、学びを通して達成感や自己肯定感を養うよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「センパイに聞こう」では、多様な考えや様々な立場の理解に役立つインタビューが掲載されており、幅広く学習できるように工夫されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で活躍している中学生や高齢者、幼児の様子がわかる写真などを多数掲載し、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストや写真と文章とのバランスがとてもよく、見やすさとわかりやすさに配慮されており、実物大の食材写真や生活の中のシーンをリアルに感じられるような工夫がされている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

## 家 庭

種目（教科）	技術・家庭 家庭分野（技術・家庭）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンスの内容が充実している。また、3年間に家庭分野で学習する内容と学習の進め方が分かりやすいことで、知識・技能が習得できるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容に関連した資料や注意点が随所に掲載され、他教科との関連やインタビュー記事も興味を持って学習に取り組めるように構成されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習例や事例が豊富に掲載されており、まとめに使えるワークシートも利用しやすく、教職経験や家庭科指導の経験が少ない教師にも使いやすいよう配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちの防災」では、自然災害に備えた暮らしの事例が紹介され、災害から生活を見直し、改善するような配慮が見られる。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目において、学習課題をわかりやすく明記し、各ページの二次元コードから学習課題と関連の深い学習コンテンツを収録されており、生徒が自己調整をしながら学習を進められるように工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

## 令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書

種目（教科）	英語（外国語）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東書
特徴・特筆すべき事項	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各パート末の「Activity」では、学習した文法事項などを用いて表現する活動を繰り返し行うことで、基礎的・基本的な知識や技能を習得することができるように配慮されている。</li> <li>各学年の「Grammar for Communication」では、言語材料の特徴やきまりを確認し、表現する活動が設定されており、言語材料を適切に使うことができるよう配慮されている。</li> </ul>		
	採択の留意点②の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各単元の「Unit Activity」、「Stage Activity」では、目的や場面、状況に応じて自己表現する活動が設定されており、各 Part で学習したことを活用できるよう配慮されている。</li> <li>各 Unit の「Read and Think」では、概要を捉える活動やその内容について自分の意見を表現する活動が設定されており、思考力・判断力・表現力等が育成されるように配慮されている。</li> </ul>		
	採択の留意点③の観点より		
<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年巻頭の「学び方コーナー」では、いつでも振り返ることができるように、学習のポイントやコツが掲載されており、自主的に学習することができるように配慮されている。</li> </ul>			
採択の留意点④の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> <li>英国人落語家へのインタビュー、世界遺産の富士山の魅力と課題、世界から見た日本のポップカルチャーなどが題材として扱われており、伝統と文化を尊重する態度が育成されるように配慮されている。</li> </ul>			
採択の留意点⑥より			
<ul style="list-style-type: none"> <li>1年の Unit 1～4 の「Enjoy Communication」では、小学校での既習事項を振り返ることができる活動が設定されており、中学校での学習を円滑に始められるように工夫されている。</li> </ul>			
以上の理由により教科書として極めてふさわしい。			
発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各 Program 冒頭の「Scenes」には、新出表現が漫画で示されており、その表現をどのような場面で使用するのかを理解できるように配慮されている。</li> </ul>		
	採択の留意点②の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の「Our Project」では、表やマッピングを使って自分の考えを整理し、それまでの学習で習得した知識や技能を活用して伝え合う活動が設定されており、表現力が育成されるように配慮されている。</li> </ul>		
	採択の留意点③の観点より		
<ul style="list-style-type: none"> <li>各 Program に「できたかな？Goal」のチェック欄が設定されており、Program の扉に示された「Goal」について、自己評価できるように配慮されている。</li> </ul>			
採択の留意点⑤の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> <li>目次や Program の扉に SDGs マークが示されており、SDGs との関連を意識しながら、単元の題材について学習できるように配慮されている。</li> </ul>			
以上の理由により教科書として概ね良い。			

英 語

種目（教科）	英語（外国語）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	15	発行者の略称	三省堂
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各レッスンの「Part」では、4技能の活動が繰り返し設定されており、基礎的・基本的な知識や技能を習得できるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元末の「Goal Activity」では、Lessonに関連したテーマについて、目的や場面、状況に応じて自分の考えや気持ちを表現したり、概要や要点を読み取ったりする活動が設定されており、思考力・判断力・表現等が育成されるように配慮されている。</li> <li>各学年の「Project」では、複数の領域を統合した活動が設定されており、目的や場面、状況に応じて、既習の言語材料を活用し表現できるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「For Self-study」では、教科書の使い方やリスニングのコツ、単語の覚え方など学習の参考となる情報が掲載されており、自主的に学習することができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「Reading Lesson」や「Further Reading」では、発達の段階に応じて様々な種類の文章を読む活動が設定されており、高等学校への学びに円滑に接続できるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
	<p>採択の留意点④の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「Tips」では、大切な情報を聞き取ったり、文章を書いたりするコツなどを学ぶ活動が設定されており、コミュニケーション能力を育成することができるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>落語や和食のような日本の伝統文化を紹介する単元が設けられており、自国の文化に関心が高まるように配慮されている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「まなびリンク」のURLやLessonの二次元コードから、動画や音声を再生したり、ワークシートなどの教材をダウンロードしたりすることができる。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教出

種目 (教科)	英語 (外国語)	教科責任者 氏名	■■■■ (非公開)
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各 Part の「Listen and Read」、「Listen」、「Speak」、「Write」では、インプットやアウトプットを繰り返す活動が設定されており、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるように配慮されている。</li> </ul>		
	採択の留意点②の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Story Retelling」では、各ユニットの内容をストーリーに沿った絵やキーワードを基に説明し合う活動が設定されており、自分の言葉で表現することができるように配慮されている。</li> </ul>		
特徴・特筆すべき事項	採択の留意点③の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末の「英語学び方ガイド」では、領域別の学び方や家庭での学習方法が示されており、自主的な学習を促すように配慮されている。</li> </ul>		
	採択の留意点④の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「World Tour」では、音声や動画を通して様々な国の文化について学ぶことができる活動が設定されており、多様性を尊重する態度を養うことができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	61	発行者の略称	啓林館
特徴・特筆すべき事項	採択の留意点②の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ユニット末の「Think &amp; Speak/Write」では、Unit と関連した題材について自分ごととして考えられる言語活動が設定されており、自己表現へと円滑につながるように配慮されている。</li> </ul>		
	採択の留意点③の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各 Unit の扉では、「Unit Goal」として「Input」と「Output」のそれぞれの目標が示されており、見通しをもって学習が進められるように配慮されている。</li> </ul>		
特徴・特筆すべき事項	採択の留意点⑥の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の「Let's Read」では、発達の段階に応じて語数が増やされるとともに、様々な種類の文章が設定されており、高等学校への学びにつなげることができるように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

道 徳

令和7年度使用中学校教科用図書研究報告書			
種目（教科）	道徳（特別の教科 道徳）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	採択の留意点①の観点より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、「いじめのない世界へ」ではいじめを、「いのちを考える」では生命尊厳を扱った教材が3つずつ連続で配列され、関連した内容をまとめて学習することで、多面的、多角的に考えを深められる。</li> <li>・思ったことや考えたことを自由に書き込むことができる「つぶやき」スペースがある。</li> <li>・切り取り式の心情円（紙版）が付録としてあり、自分の考えを表示し、互いの考えを判断しやすくなる点において授業で活用できる。</li> </ul>	
	採択の留意点②の観点より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「道徳×情報モラル」のページでは、ネットリテラシーやSNSやネットを介して起こりうるトラブルを回避するために必要な道徳感覚を養うことができる。</li> </ul>	
	採択の留意点③の観点より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教材の最後に、「考えよう」教材文に沿って考える設問と「見つめよう」自分を見つめて考える設問があり、主体的に考え、議論し、学びを深め広げることができる。</li> </ul>	
	採択の留意点④の観点より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な分野で活躍する著名人や被災地の実話、社会参画について考える新聞の投書等、現代的な課題について扱った多様な教材が掲載されている。</li> </ul>	
	採択の留意点⑦の観点より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルコンテンツ（朗読音声、ワークシート、動画、解説資料等）があり、充実している。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	採択の留意点①の観点より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材末の「学びの道しるべ」では自己理解、他者理解、価値理解の視点の3つの発問があり、自分の考えを持つ問い、全体で話し合うことでさらに考えを広げ深める問い等になっている。</li> </ul>	
	採択の留意点②の観点より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やってみよう」のページでは、役割演技をすることで教材の疑似体験をし、教材を自分事として捉え、道徳的諸価値の理解を日常生活の中での行為や習慣に結びつけることができる。</li> </ul>	
	採択の留意点④の観点より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちをかがやかせる」のユニットがあり、いじめや生命倫理等の現代的諸問題に向き合い、多面的・多角的に考えるよう設定されている。</li> <li>・スポーツ選手よりも様々な分野で活躍する著名人や文化人、被災地の実話、社会参画について考える新聞の投書等、現代的な課題について扱った複数の教材が掲載されている。</li> </ul>	
	採択の留意点⑤の観点より	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度を育む教材が「補充教材」として掲載され、地域教材等と入れ替えて弾力的に使用できるよう工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	

種目（教科）	道徳（特別の教科 道徳）	教科責任者 氏名	■■■■（非公開）
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材末の「考えよう」では道徳的な価値に対する理解や考えを深める問いが設定されている。また、「見方を変えて」では、生徒の多面的・多角的な見方や考え方につながる視点を変えた問いが設定されている。「つなげよう」では、生徒の日常生活と関連した問いかけや、議論により価値を広げる問いが設定されている。</li> <li>「環境」「人権」の2つのテーマに関する読み物資料「コラム」が設定されている。</li> <li>巻末には、「まなびの道具箱」があり、各学年2つずつ思考ツールが紹介されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「やってみよう」のページでは、友達とよりよい関係を築き、対話しながら考えを深めていく楽しさを味わえるような役割演技や話し合い活動が掲載されている。</li> <li>巻末には「まなびの記録」があり、1年間の学習の始まりと終わりにあたり書くことで、自分の成長を知ることができる。また、毎時間で考えたことを記録し、自分の思考の変容を実感できる工夫がある。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	116	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>別冊「道徳ノート」は1時間ごとのワークシート型で、始めに発問を自分で書き、自分の考えをまとめる様式になっている。最後には「自分への振り返り」として自己評価欄がある。</li> <li>「自分に+1(プラスワン)」のコーナーで、教材を通して考えたことを自己理解、自己啓発につなげ、自分に自信が持てるように工夫されている。</li> <li>「道徳ノート」の最後には、学期ごとの振り返りを促し、心の成長の記録として一年間の生徒の個人内評価に役立てられるよう構成されている。</li> </ul> <p>採択の留意点②の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学びを深めよう」のページには、教材に続き、役割体験やシミュレーションを通して実際に感じ、道徳的な問題に対して考えを深められる「学びを深めるヒント」がある。</li> </ul> <p>採択の留意点④の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめ」「情報社会」「自立と共生」「環境と未来」「安全な生活」などのテーマに基づき、多様性を尊重する、持続可能な社会の創り手の育成が意識されている。いじめ問題やSDGs、環境問題を扱った教材を連続して配列したユニット「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」が学期ごとにあり、集中的に、関連性をもって学習し、考えを広げ、学びを深める構成になっている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑤の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「視野を広げて」は、道徳以外での活用を意識した各教科と関連させ、生き方について視野を広げるためのコラムが掲載され、教材を通して多角的・多面的に考えるための補助資料となっている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑦の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルコンテンツが充実している。書き込み式の「ワークシート」、「朗読音声」、さらに「関連資料」、「インタビュー動画」、「道具箱」等もあり、授業で使いやすく、実用的である。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

# 道 徳

種目（教科）	道徳（特別の教科 道徳）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	224	発行者の略称	学 研
特徴・特筆すべき事項	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「クローズアップ」は教材中の人物・題材に関する資料やデータがあり、多角的な視点から考え、多様な考えを引き出すための根拠となるに有効な補助資料である。</li> </ul>		
	採択の留意点②の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニット学習「未来に向かって（キャリア）」「色とりどりに輝く（多様性）」「持続可能な世界のために（SDGs）」が全学年あり、複数教材で連続して集中的に学び、テーマについてより考えを深めることができる構成になっている。</li> </ul>		
	採択の留意点③の観点より		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「深めよう」は教材に引き続き、自分自身や自分を取り巻く環境に視点を変えて考えることができるワークシート型になっている。設問は「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生き方につなげよう」の4段階構成で多様な切り口で思考を深め、当事者意識を持って考えることで、より日常生活や実社会における望ましい考え方、望ましい生き方につなげることができる。</li> </ul>			
採択の留意点④の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生命尊重」に重点が置かれ、「いのち」マークが各学年7本（3年生は5本）あり、「いのちの大切さ」を考える教材が複数扱われている。</li> </ul>			
採択の留意点⑦の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストや写真、図版などの資料が美しく、見やすいレイアウトになっている。また、教材により二次元コードがあり、学びを深めるデジタルコンテンツとして「ワークシート」「画像や映像資料」「音源資料」等が付録され、イメージが湧きやすくなるよう効果的である。</li> </ul>			
以上の理由により教科書としてかなり良い。			
発行者の番号	232	発行者の略称	あか図
特徴・特筆すべき事項	採択の留意点①の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「MY PLUS」は教材末にあり、テーマを掘り下げ、より深い話し合い活動が展開されるよう言語活動の充実が図られている。</li> </ul>		
	採択の留意点③の観点より		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめを考える」「情報モラル」「キャリア」のユニットでは、いじめや情報モラル等の諸問題、キャリア教育の視点から、複数教材で連続して集中的に学び、テーマについてより考えを深めることができる。</li> </ul>		
	採択の留意点④の観点より		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Thinking」は、生命倫理やいじめ防止に関して教材で学習した内容を深め、広げるコラムであり、教材に関連した資料や実話が掲載されている。現代的な課題について理解を深め、視野を広げ、生徒の多様な考えに導くような補助資料である。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新のスポーツ選手や著名人、歴史上の偉人などを題材とした教材が多数掲載されており、生徒が興味を持って学習できる。</li> </ul>			
採択の留意点⑦の観点より			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章がUDゴシック体で、太くて読みやすい文字である。</li> </ul>			
以上の理由により教科書として概ね良い。			

種目（教科）	道徳（特別の教科 道徳）	教科責任者 氏名	■■ ■■（非公開）
発行者の番号	233	発行者の略称	日 科
特徴・特筆すべき事項	<p>採択の留意点①の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ウェルビーイングカード」が付いている。自分がいきいきと過ごすために何が大事か考え、その考えや意思を表出できる。その根拠をもとに、ペアや班での話し合い活動を進めやすくなる。しかし、切り取った後の保管が難しい。タブレット端末で表せるよう、データがあるとよい。</li> </ul> <p>採択の留意点③の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国各地の地域を事例とした教材が数多くある。また、各学年オリジナル教材が多く、生徒が興味・関心をもって取り組むことができる内容となっている。</li> </ul> <p>採択の留意点⑥の観点より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生は「生き方から学ぶ」の教科書名で、偉業を成し遂げた先人、最近話題にあがった著名人の体験や夢に学ぶ人物教材が豊富である。2年生は「生き方を見つめる」で様々な人の生き方から中学生として、日本人として自分の生き方を問い返す教材が豊富で、3年生は「生き方を創造する」で、日常生活や将来の生き方を前向きに、創造的に生きていく意思をもつ教材が豊富である。</li> <li>・4つの視点「自分自身」「他の人」「集団や社会」「生命や自然、崇高なもの」と関わることの順番で教材が配列されている。年間指導計画を作成する必要がある。内容項目順に教材が配列されているため、各学校で年間指導計画を立てるときに便利である。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		